

くれよんだより

いよいよ夏本番です！

気候の変化を大きく感じる時期でもあります。しっかりと休息を取りながら体の変化にも気をつけつつ、たくさん遊んで、いっぱい食べて、暑い夏を元気に過ごしましょう。水分補給も忘れず行い、夏ならではの体験もできると良いですね。



今、流行している病気について

*手足口病

- ・手や足、口腔内、臀部などに水疱性の発疹ができる
- ・口の中や喉の痛みを訴えることもある
- ・38度の熱が数日続く

・全身状態が良ければ登園、登校可

*ヘルパンギーナ

- ・口腔内に水疱性の発疹や潰瘍ができる
- ・喉の痛みを訴えることもある
- ・38～39度の熱が1～3日続く

・全身状態が良ければ登園、登校可

*咽頭結膜熱 (アデノウィルス)

- ・喉の痛み、腹痛、下痢などの症状が出ることもある
- ・目の充血や目やに、涙目など、結膜炎症状
- ・39～40度の高熱が4～5日続く

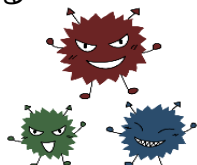
症状が消退した後、2日を経過するまで出席停止

*溶連菌感染症

- ・喉の痛みや、舌にイチゴのようなブツブツができる
- ・咳、鼻水は出ないことが多い
- ・38～39度の発熱

・抗生剤開始後 24 時間を経て全身状態が良ければ登園、登校可

★手洗い、うがいなどの基本的な感染症対策をいつも以上に意識して行いましょう。



子どもの熱中症予防のポイント

子どもの熱中症は、乳幼児は自宅と野外での発生が多く児童、生徒は学校での運動中に多く発生しています。



特に乳幼児は、大人よりも熱中症になりやすいので気をつけましょう。

- ① 気温と湿度をこまめにチェックしましょう
- ② エアコンや扇風機を適切に使いましょう
- ③ 喉の渇きを感じなくても、こまめに水分補給をしましょう
- ④ 通気性の良い服装で、帽子など日よけ対策にも心がけましょう
- ⑤ 無理をせず、適度に休息しましょう
- ⑥ 十分な睡眠と、栄養のある食事を摂りましょう



短時間でも絶対に、車内に子どもだけにはしないように！

病児保育室での様子をご紹介



体調の良い日は
テラスでシャボン玉遊び！



いろいろなかき氷が
出来ました◎



絵の具をベタベタ！
おいしいかき氷になあれ♪



新しい保育士が増えました

ひき
比企です。
子どもたちと楽しい時間を過ごせるように頑張ります♡



*保護者の同意を得て掲載しています。

お問い合わせはこちらまで
病児保育室くれよん
電話 0893-57-9377
ホームページ
<https://okubo-kc.jp/childcare/>